

一般質問



香美町観光ナビより



国も地方もこどもを真中に

観光戦略として、観光客の動線・滞在時間・回遊性の現状分析を問う。山（小代・村岡）と海（香住）を巡る条件付き



なかむら たかし
中村 崇志 議員

デジタルスタンプラリー、地域通貨・デジタルクーポンとの連動、春・夏のオフシーズンへの重点実施を提案する。さらに、取得した行動・購買データを商工会や観光協会と共有・分析し、ターゲットを絞った施策や広告に活用するなど、データに基づく観光DXの推

進について町の見解を伺う。
町長 観光客が地域ごとに滞在し、広域回遊が十分でないことを認識しています。滞在時間の延長や町内消費の拡大には周遊促進が重要としています。海と山を巡るデジタルスタンプラリーやクーポン活用は有効と評価す

る一方、独自の地域デジタル通貨は費用対効果や運営面から慎重な姿勢です。既存QRクーポン等による実証を検討し、行動データを関係機関と共有・分析して観光DXと施策改善につなげる考えです。

山海直結 観光戦略を提案 有効な施策と受け止める



健康保険法が改正されOTC類似薬等、療養が保険適用外となる。現時点では、こどもなどは対象外だが、厚生労働省の判



やまもと けんし
山本 賢司 議員

断で範囲拡大が可能となり、保険適用拡大の方向からの大転換である。町長の施策成果が掘り崩されかねない。どう考え、どう対応するか。多くの地方自治体で実施されてもおり、町村長会などで、国に意見具申するべきであり、町長はその先頭に立つべきだ。

町長 乳幼児こども医療費無料化は、町の子育て支援策の重要な柱として早期に実施し、拡充に努めてきました。保護者が安心して子育てできる環境を整えるためです。法の改正は、国全体の医療費適正化のためと理解しています。今後、指摘の通り、国の判断で保

険適用外しの範囲拡大が否定できません。国の制度変更の動向が、町のこども施策や財政にどう影響するのか、国の審議会・検討状況を注視していきます。そして町の制度が持続可能となるよう適切に対応していきます。町村会でも課題になるでしょう。

こども医療無料が掘り崩される 制度安定運用に向け、適切に対応

